

平成24年度前期全学教育機構「学生による授業改善アンケート」の結果

評価分析室全学教育機構分室

全学教育機構では、平成24年度前期に中間アンケートを行い、学生の要望を確認し、後半の授業が行われた。本結果は、期末に実施されたものによる。

平成24年度前期期末「学生による授業改善アンケート」は、以下の2とおりの方法により実施された。

- a. 全学教育機構の各教員が少なくとも1授業題目について授業中に用紙に記入する。
- b. 全授業題目を対象としてウェブ上で記入する。

アンケートの質問項目は、用紙・ウェブともに以下のとおりである。

<アンケート質問項目>

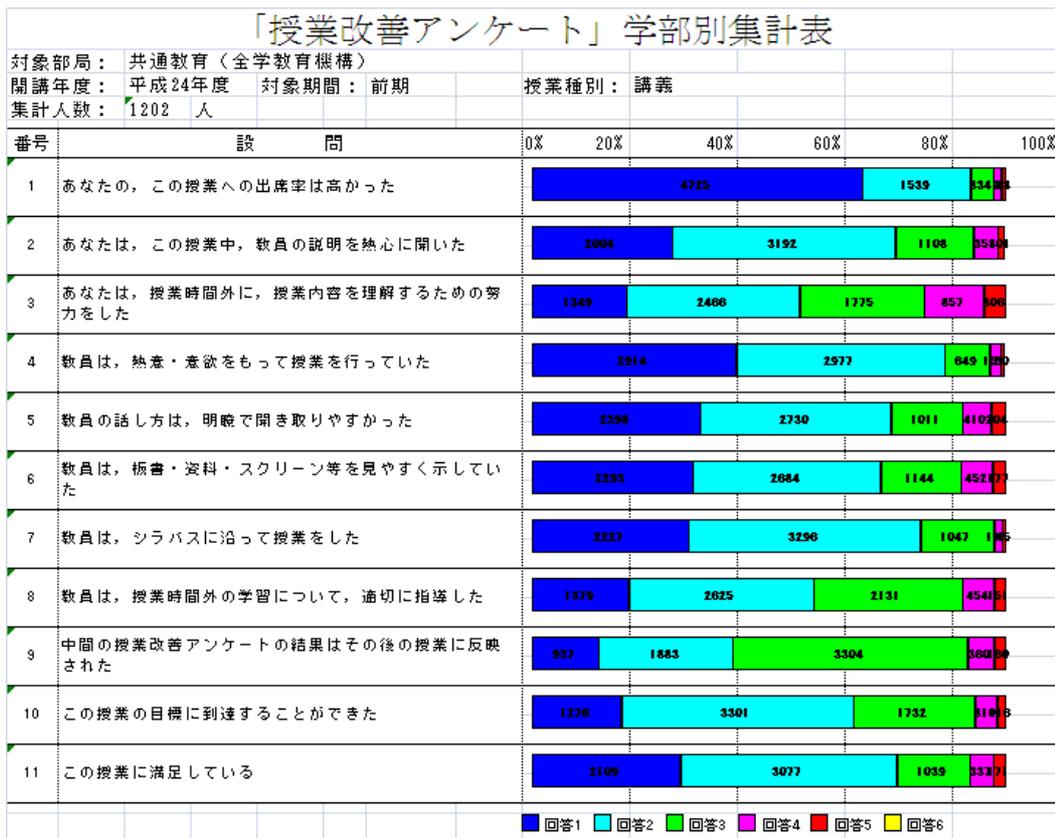
1. あなたの、この授業への出席率は高かった(5択)
2. あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた(5択)
3. あなたは、この授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした(予習・復習等)(5択)
4. 教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた(5択)
5. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった(5択)
6. 教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた(5択)
7. 教員は、シラバスに沿って授業をした(5択)
8. 教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した(シラバスでの参考文献の提示等)(5択)
9. 中間の授業改善アンケートの結果はその後の授業に反映された(5択)
10. この授業の目標に到達することができた(5択)
11. この授業に満足している(5択)
12. この授業について、改善すべきと思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
13. この授業について、教員が工夫をしていると思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
14. その他、この授業について、意見、要望等がありましたら、書いてください(自由記述)

アンケートの結果は、部門長および評価分析室機構分室員が内容について検討・解析した。以下に回答について、科目群ごとにその結果を報告する。(用紙を使ったアンケートの結果についても、ウェブに取込して集計されている。)

1. 全体に関する結果

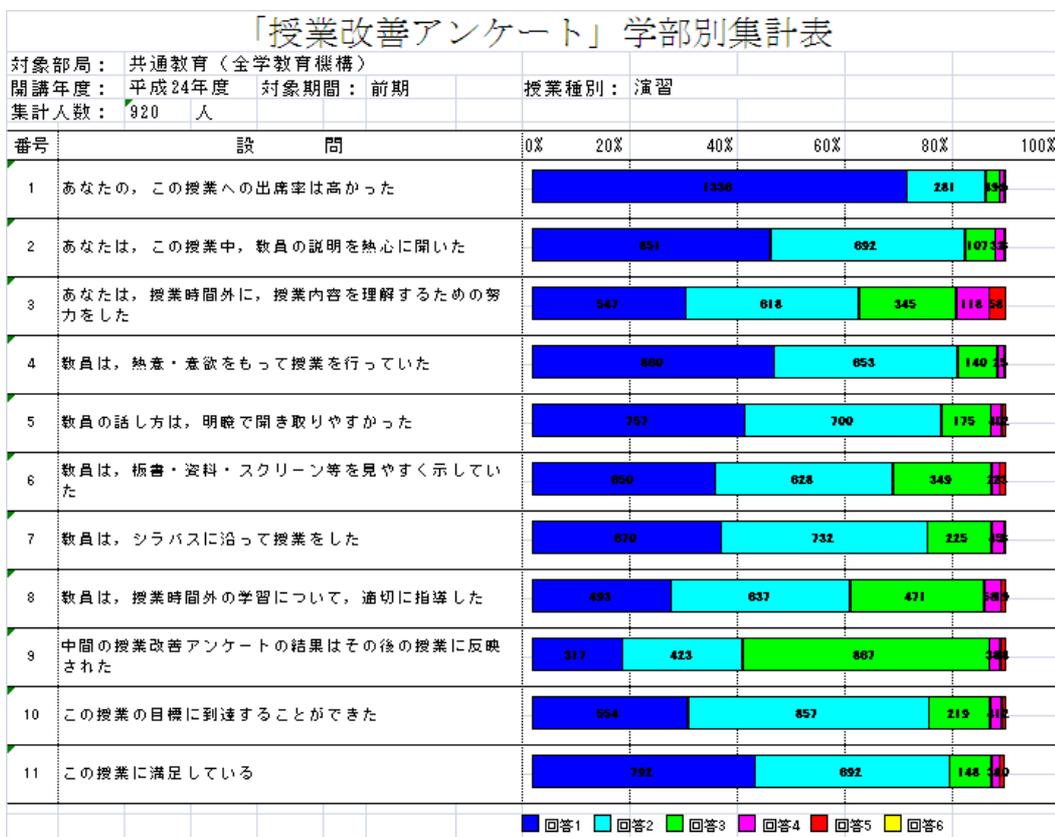
期末アンケートは、集計人数が講義科目1202人、演習科目920人、外国語科目1313人であった。期末アンケートの講義科目、演習科目、外国語科目の集計結果は、図1、図2、図3の通りで、質問1の結果から、学生が授業に出席するという大学教育の基本形態はだいたい守られていると言えるようである。

図1 【講義科目】



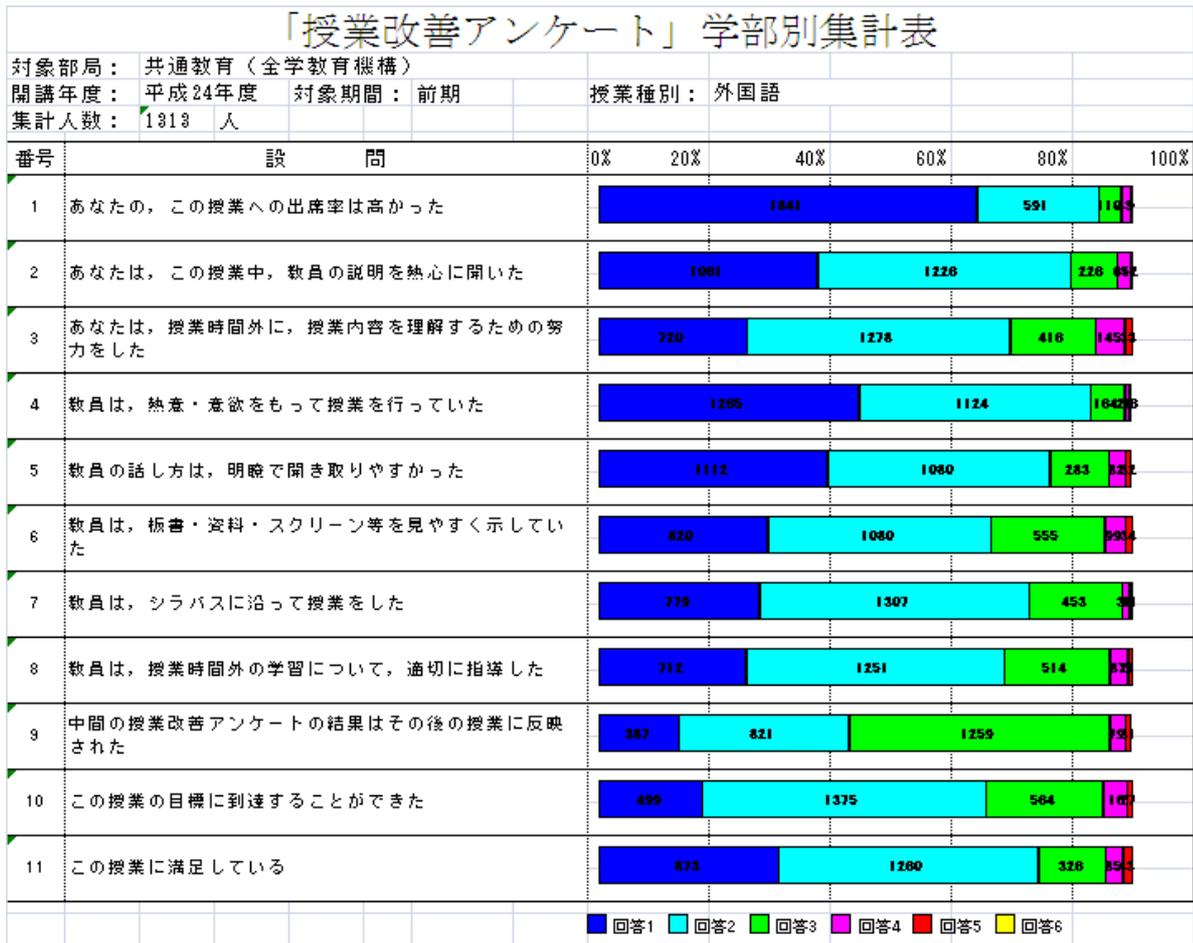
青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

図2 【演習科目】



青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

図3【外国語科目】

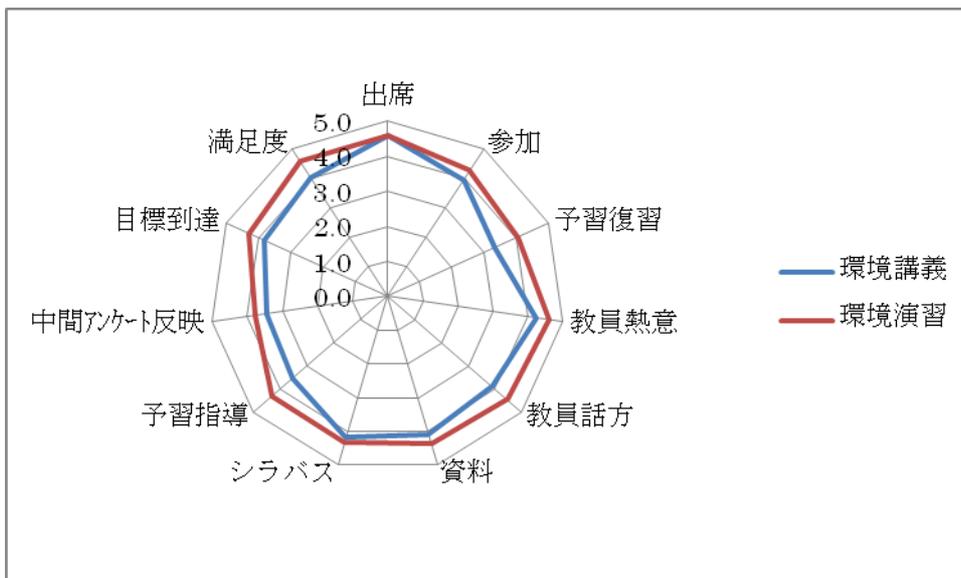


青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

2. 教養科目

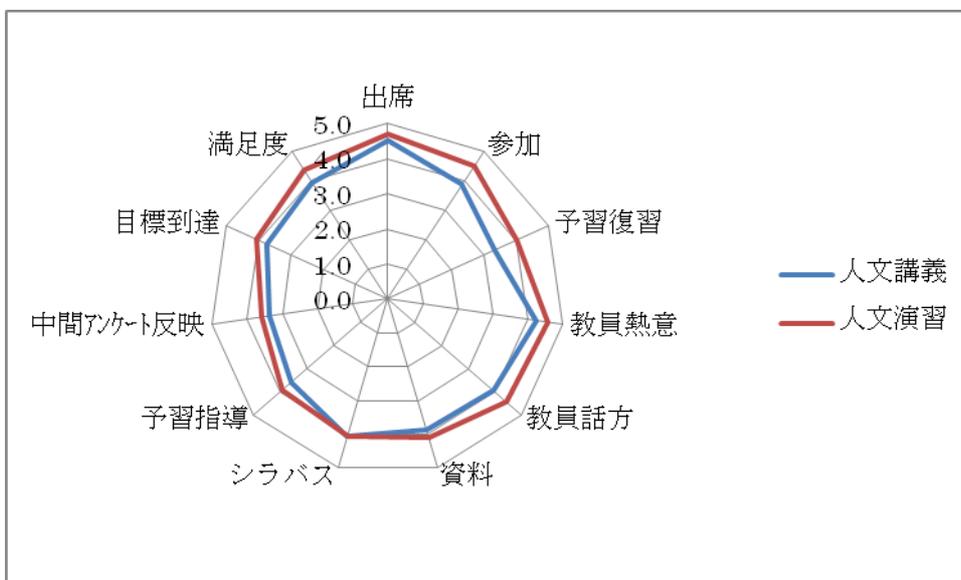
[環境科目群]

全体的に各項目の値は、出席率を除いて、演習科目が講義科目を大きく上回る。この傾向は他の科目群よりも顕著であり、演習科目の授業に関する教員の努力がうかがわれる。また、予習に関する教員による指導の充実が認められる。講義科目においては、教員による時間外学習の指導に関する数値が低く、学生の時間外学習の値の低さに結びついているものと考えられる。講義科目における学生の満足度が低い点も気付きである。



[人文学科目群]

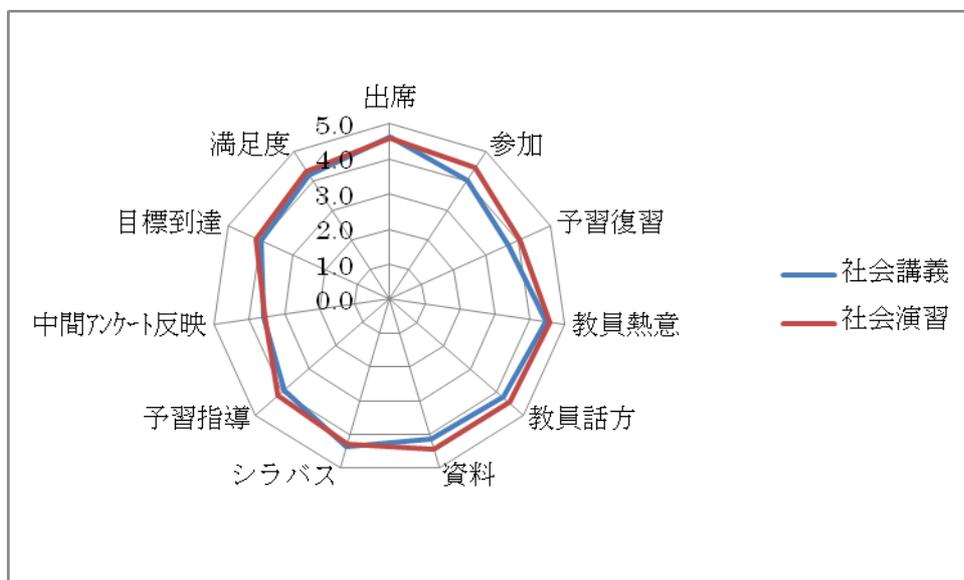
当該科目群において、演習形式による授業評価の平均値は、総じて4.0を越えており、学生から高い評価を得ているものといえる。とりわけ、「学生の出席率」の4.7、「学生の熱意」の4.5、「教員の熱意」の4.5という評価は特筆に値する。教員の熱心な指導が学生の学習意欲をうまく引き出した結果であろう。他方で、講義科目に関しては、概してその評価は低調といえる。「学生の予習・復習」の3.3およびこれと相関関係にある「時間外学習指導」の3.6については、とりわけて低調な評価にとどまる。「単位制度の実質化」という文脈において、今後の改善事項の一つとして指摘されなければならない。



[社会科目群]

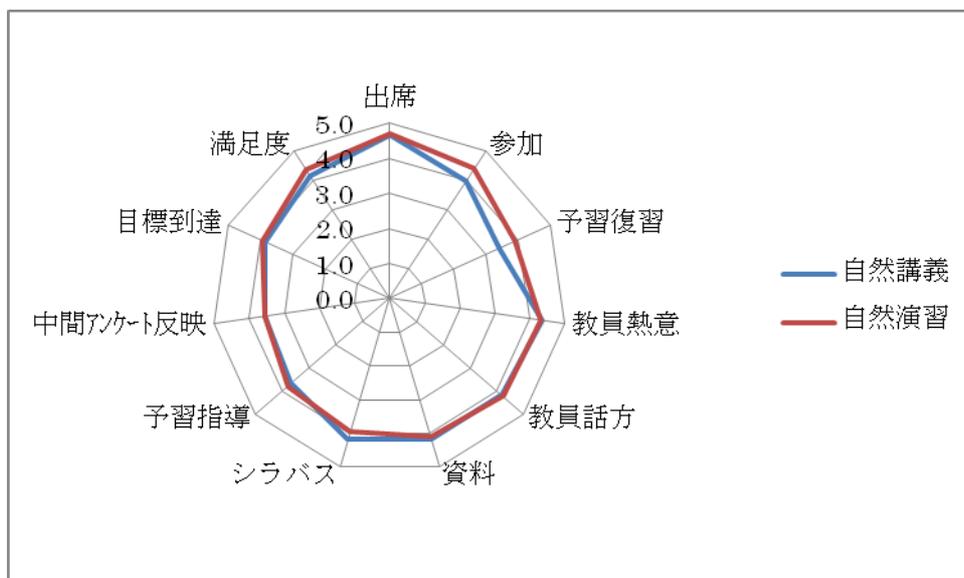
当該科目群において、演習形式による授業評価の平均値は、総じて4.0を越えており、学生から高い評価を得ているものといえる。とりわけ、「学生の出席率」および「教員の熱意」の4.6という評価、ならびに時間外学習が低調な傾向の中で、「予習・復習指導」の4.0および「学生の予習・復習」の4.1という評価は特筆に値する。教員の熱心な指導

と学生の学習意欲がうまく相乗効果を発揮した結果であろう。他方、講義科目に関しても、その多くの評価項目で4.0を越えており、概して高評価である。また、これらと相関関係に立ちながら、「理解度」「満足度」についても4.0を越え、講義科目としては特筆に値する。



[自然科学群]

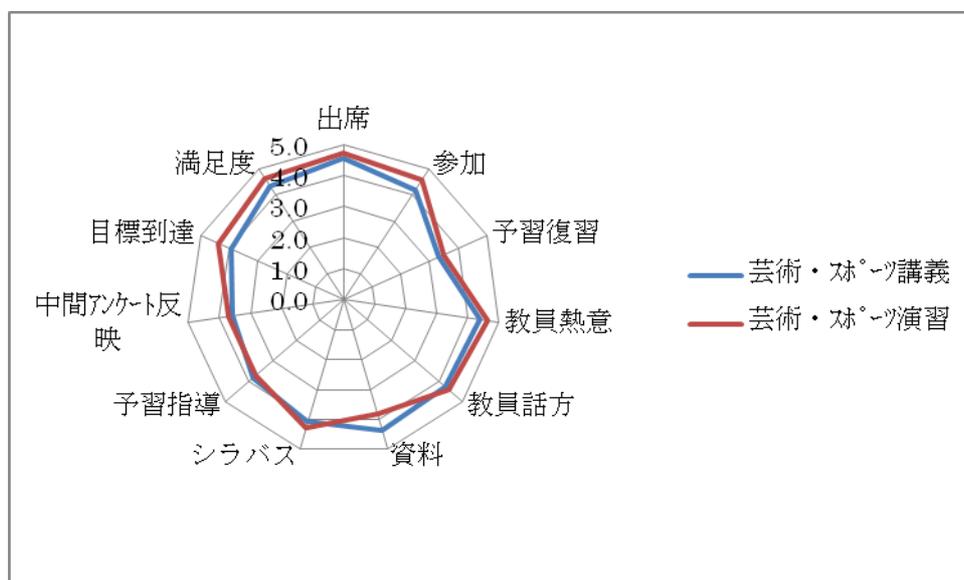
演習科目と講義科目の数値の差が小さい。全体的に平均的な値となっている。他の科目群同様、教員による時間外学習の指導と学生の予習・復習の値が低く、改善の必要性が認められる。



[芸術・スポーツ群]

講義科目の開講数（3件）が少なく、傾向を論じることはできないが、総じて数値は高い。演習科目では芸術系科目の開講数が少なく、多くはスポーツ系の科目に関する結果で

ある。演習科目では、学生の出席・満足度・学生の参加・目標達成の項目の値が著しく高く、教員の話し方・熱意などに関する教員への評価も高い。全体的に高評価であり、教員の努力がうかがえる結果となっている。



3. 外国語科目

[英語]

英語1年次総括

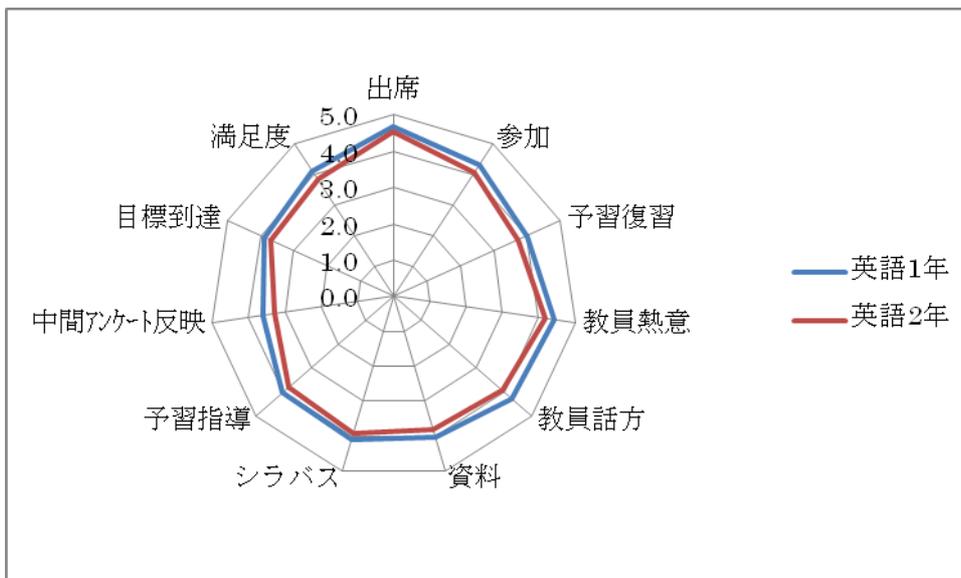
英語1年次においては、①学生自身の取り組み(出席率(4.7)・熱心度(4.3))は非常に高く、そして②教員および授業への評価も高い—教員の意欲・熱意に対する評価(教員の熱心度(4.4))や授業の進め方に対する評価(話し方の明瞭さ(4.3)・資料の見やすさ(4.0))も高い。その結果、英語科目(英語1年次)には、概ね満足しているようである(満足度(4.1))。

英語2年次総括

英語2年次においては、①学生自身の取り組み(出席率(4.5)・熱心度(4.0))は高いものの、②教員および授業への評価はやや低調である—教員の話し方の明瞭さ(3.9)・資料の見やすさ(3.8)。

英語2年次の予習・復習指導に着目すると数値は3.8とやや低く、そのため英語2年次の学生の予習・復習も3.7と低い。英語2年次では、受講者自身が明確な目標、動機づけを得られず、自主的な学習に苦勞していることが窺える。これらのことが、当該科目に対する満足度(3.8)の数値がやや低調という結果につながっていると推察される。

(ただし、英語2年次のアンケート回答率は、非常に低く(受講者2132人中376人回答(回答率17%))、これらの数値が英語2年次受講者の声を十二分に捉えられているかは疑問である。ちなみに、英語1年次のアンケート回答率は、45%であった。)



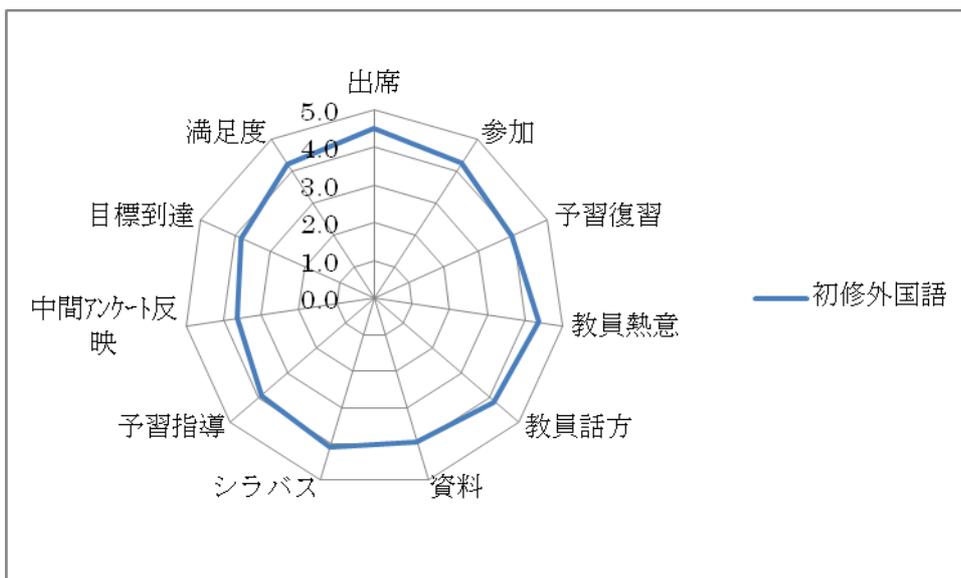
[初修外国語]

出席率は全体的に 4.5 以上で授業への出席は自覚しているが、授業への取り組み・態度と言う観点からは、設問 2, 3 に対する初習外国語の数字は 4.3/4.3, 3.8/4.0 で少し低い。しかしながら、設問 2, 3 のこの数字は全体的にも低く初習外国語だけの特徴とは言えない。

設問 4~8 の教師への評価は中間と期末で同じ結果になっている。その中で目立って低いのは設問 6 と 8 の 3.9 であろう。設問 6, 8 は全体の数字も低いので注意するべき点である。

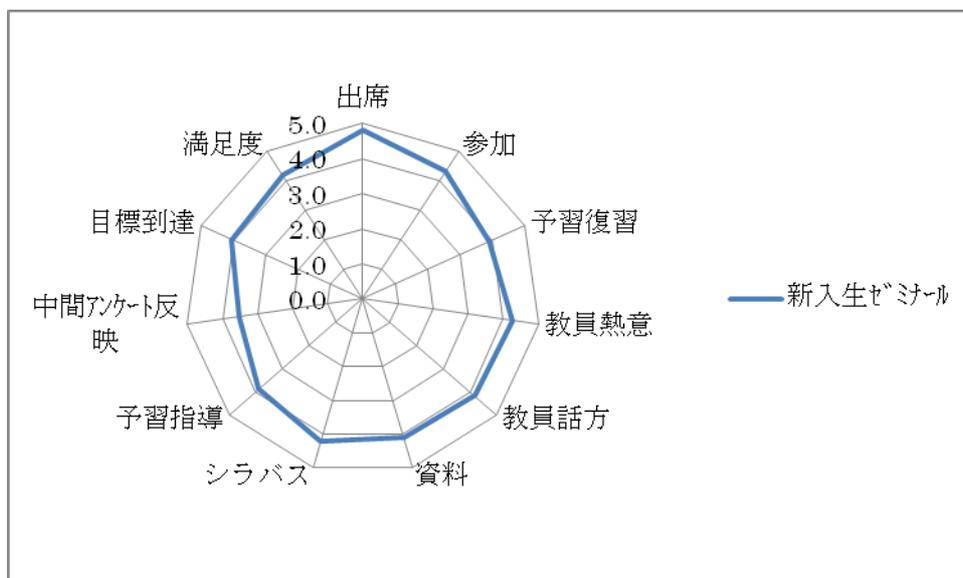
中間アンケート反映度は他の科目と同様低い数字である。

目立って低いのは、設問 10 の 3.8 である。満足度は比較的高い 4.2 であることと合わせて考えると、初習科目は、高い目標到達を得ることが元々難しいことであると考えられるように思われる。



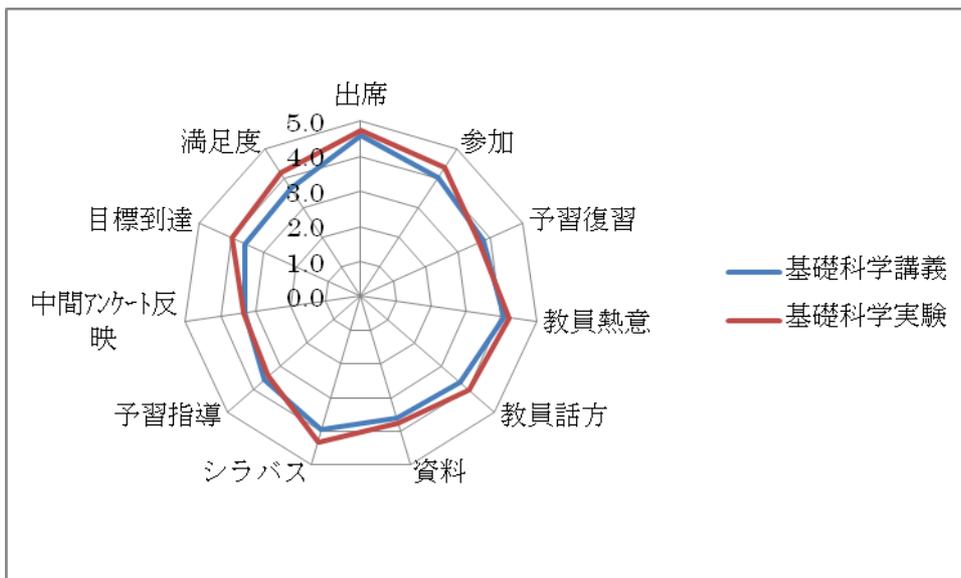
4. 新入生ゼミナール科目

新入生ゼミナール科目は、学部、学科、学系などにより、それぞれ独自の内容、形態で実施されているため、全体の傾向をつかむことは難しいが、総体的に学生の出席率が高く、それ以外の種々の項目についてもおおむね良好な結果が得られているものと思われる。グラフ上では「中間アンケート」がやや低いようにも思われるが、これは他の講義や演習と比較して平均的な値である。



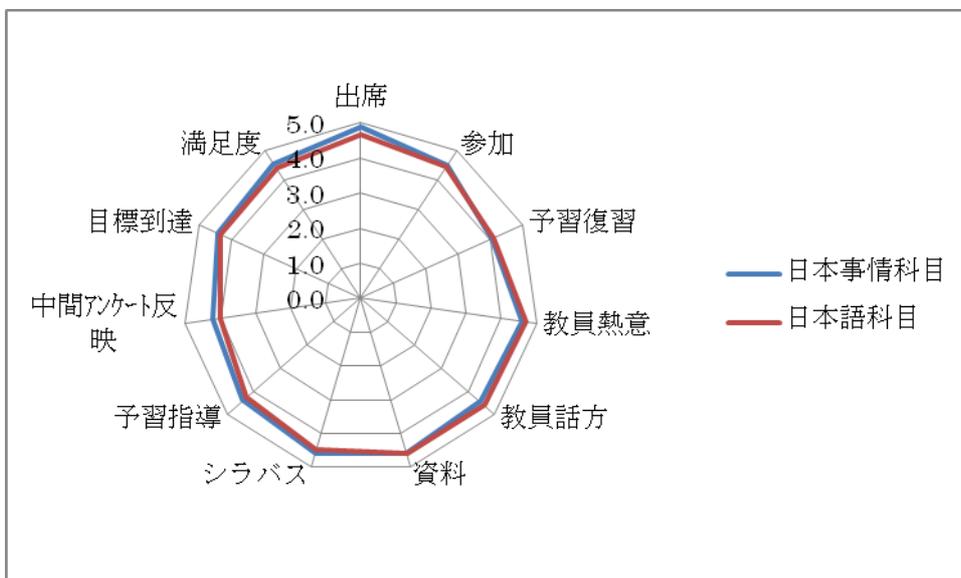
5. 基礎科学科目

基礎科学科目の講義は、他の講義と比べて「予習復習」が高い値を示している一方、「目標到達」「満足度」が全講義平均を下回っている。修得に学生自身の努力が不可欠である科目の特性上、学生たちには結果に結び付く、なお一層の努力を期待したい。教員側の項目としては、「教員熱意」「教員話方」「資料」などがやや低く評価されている。実験の授業は、おおむね良好な結果が得られている。



6. 日本語・日本事情科目

中間と期末アンケートで細かい違いはあるものの、すべての設問において4.0以上の数字である。回答率もほかの集計区分で大きく数字が下がっているのに対して、少しの減少にとどまっている。設問全体にわたって高い数字である中で、設問8～11の数字が低くなっている。この傾向はほかの科目においても見られる。



7. まとめ

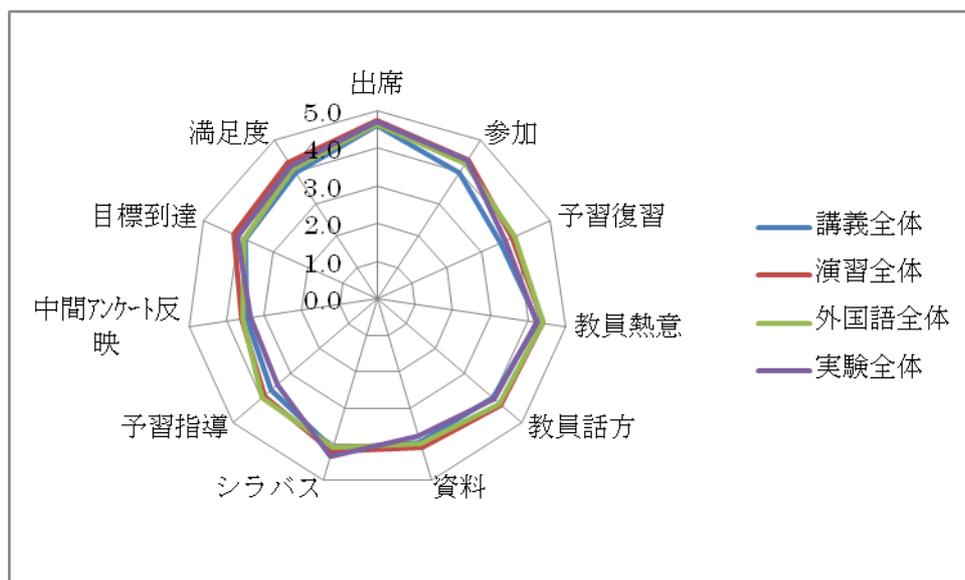
2012年度前期の機構授業に対する授業改善アンケートの回答率は、中間アンケートの講義全体：60.0%，演習全体：64.5%，外国語全体：49.0%，実験全体37.4%から期末アンケートの講義全体：40.7%，演習全体：45.3%，外国語全体：35.5%，実験全体：23.4%へとすべての科目群で減少した。その原因はいろいろ考えられるであろうが、今回

の期末アンケートの実施期間が前期期末テスト期間と少し重なったこともその1つに挙げられるであろう。

設問1～3 学生自身について、出席率は全体に高く、授業への出席は自覚している。しかし、授業への取り組み・態度と言う観点からは参加/予習・復習に対する数字が少し低い。

設問4～8 教師への評価では、中間と期末でだいたい同じ結果になっている。その中で目立って低いのは予習・復習指導であろう。目標到達はやや低めの数字であるが、満足度は比較的高めであることと合わせて考えると、高い目標到達を得ることが元々難しいことであると考えられる。中間アンケート反映度の数字は他の項目と比較すると低いが、教員の授業改善の事例も多く報告されており、それが教員熱意や満足度の高い数字に現れているのではないであろうか。

アンケートの結果について全学教育機構各部門で検討され、その結果が、「各教員とも、学生からの細かい要望に関しては、個別に柔軟に対応している」、「シラバスに沿って授業の目標とその到達方法について検討し、授業ではより丁寧な講義を実施していく。」などと報告されており、授業改善に向けての試みが着実になされていると思われる。



共通教育授業改善アンケート(2012前期中間)平均値一覧

集計区分		受講登録者数	回答者数	回答率	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8
		(人)	(人)	(%)	学生の出席率	学生の熱心度	学生の子習・復習	教員の熱心度	教員の話し方	資料の見やすさ	ノウハウに沿った授業	予習・復習指導
講義全体		16704	10018	60.0	4.7	4.1	3.4	4.3	4.0	4.0	4.1	3.7
演習全体		3717	2396	64.5	4.8	4.4	3.8	4.4	4.3	4.1	4.2	3.9
外国語全体		7288	3571	49.0	4.8	4.3	3.9	4.4	4.2	4.0	4.1	4.0
実験全体		265	99	37.4	4.8	4.2	4.1	4.4	4.2	4.0	4.3	3.8
環境科学群	講義	2742	1691	61.7	4.7	3.9	3.0	4.2	3.9	4.1	4.1	3.5
	演習	96	66	68.8	4.8	4.3	3.7	4.6	4.5	4.3	4.3	4.1
人文科学群	講義	2420	1456	60.2	4.7	4.0	3.3	4.3	3.9	3.8	4.0	3.6
	演習	231	153	66.2	4.9	4.5	4.0	4.4	4.4	4.1	4.2	3.9
社会科学群	講義	2736	1752	64.0	4.7	4.1	3.5	4.4	4.1	4.1	4.2	3.8
	演習	169	109	64.5	4.7	4.4	4.1	4.5	4.3	4.1	4.2	4.0
自然科学群	講義	3220	2002	62.2	4.8	4.1	3.2	4.4	4.2	4.1	4.2	3.6
	演習	281	195	69.4	4.8	4.4	3.7	4.3	4.2	4.1	4.0	3.8
芸術・スポーツ科学群	講義	418	256	61.2	4.7	4.4	3.5	4.5	4.3	4.5	4.2	4.1
	演習	584	379	64.9	4.8	4.5	3.4	4.5	4.3	3.7	4.2	3.6
外国語	英語1年	4232	2795	66.0	4.8	4.4	4.0	4.4	4.2	4.0	4.1	4.0
	英語2年	2176	257	11.8	4.6	4.2	3.7	4.3	4.0	3.9	3.8	3.9
	初修外国語	880	519	59.0	4.7	4.3	3.8	4.4	4.2	3.9	4.1	3.9
新ゼミ	演習	2257	1428	63.3	4.9	4.4	3.8	4.3	4.2	4.1	4.2	3.9
基礎科学科目	講義	5032	2752	54.7	4.7	4.1	3.8	4.1	3.7	3.7	4.0	3.6
	実験	265	99	37.4	4.8	4.2	4.1	4.4	4.2	4.0	4.3	3.8
日本語	講義	58	45	77.6	4.8	4.6	4.2	4.6	4.5	4.7	4.6	4.4
	演習	99	66	66.7	4.6	4.6	4.3	4.6	4.7	4.8	4.5	4.4

共通教育授業改善アンケート(2012前期期末)平均値一覧

集計区分		受講登録者数	回答者数	回答率	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9	設問10	設問11
		(人)	(人)	(%)	学生の出席率	学生の熱心度	学生の子習・復習	教員の熱心度	教員の話し方	資料の見やすさ	ノウハウに沿った授業	予習・復習指導	中間アンケート反映度	目標到達度	満足度
講義全体		16727	6801	40.7	4.6	4.0	3.5	4.3	4.0	4.0	4.1	3.7	3.5	3.8	4.0
演習全体		3748	1697	45.3	4.7	4.4	3.9	4.4	4.3	4.1	4.2	3.9	3.6	4.1	4.3
外国語全体		7261	2578	35.5	4.6	4.3	4.0	4.4	4.2	4.0	4.1	4.0	3.6	3.9	4.1
実験全体		265	62	23.4	4.7	4.4	3.7	4.2	4.0	3.8	4.3	3.5	3.4	4.0	4.2
環境科学群	講義	2742	1099	40.1	4.6	3.9	3.3	4.2	3.9	4.1	4.2	3.6	3.5	3.8	4.0
	演習	96	52	54.2	4.6	4.3	4.1	4.6	4.5	4.4	4.3	4.3	3.8	4.3	4.6
人文科学群	講義	2420	865	35.7	4.5	3.9	3.3	4.2	4.0	3.9	4.0	3.6	3.4	3.7	4.0
	演習	231	105	45.5	4.7	4.5	4.0	4.5	4.4	4.1	4.0	4.0	3.6	4.1	4.3
社会科学群	講義	2746	1191	43.4	4.6	4.0	3.7	4.4	4.2	4.1	4.3	3.9	3.6	4.0	4.2
	演習	169	100	59.2	4.6	4.4	4.0	4.6	4.5	4.4	4.3	4.2	3.5	4.1	4.3
自然科学群	講義	3291	1416	43.0	4.7	4.0	3.4	4.4	4.2	4.2	4.2	3.7	3.5	3.9	4.2
	演習	311	148	47.6	4.7	4.4	3.9	4.3	4.2	4.1	3.9	3.8	3.6	4.0	4.3
芸術・スポーツ群	講義	418	155	37.1	4.6	4.2	3.3	4.4	4.3	4.4	4.1	3.8	3.6	3.9	4.4
	演習	584	276	47.3	4.7	4.6	3.5	4.6	4.4	3.8	4.3	3.7	3.7	4.4	4.7
外国語	英語1年	4232	1878	44.4	4.7	4.3	4.0	4.4	4.3	4.0	4.1	4.0	3.6	3.9	4.1
	英語2年	2132	376	17.6	4.5	4.0	3.7	4.2	3.9	3.8	3.9	3.8	3.3	3.7	3.8
	初修外国語	897	324	36.1	4.5	4.3	4.0	4.4	4.2	3.9	4.1	3.9	3.6	3.8	4.2
新ゼミ	演習	2258	951	42.1	4.8	4.3	3.9	4.3	4.2	4.1	4.2	3.9	3.5	4.1	4.2
基礎科学科目	講義	4974	1966	39.5	4.6	4.0	3.8	4.1	3.7	3.6	3.9	3.6	3.3	3.6	3.7
	実験	265	62	23.4	4.7	4.4	3.7	4.2	4.0	3.8	4.3	3.5	3.4	4.0	4.2
日本事情	講義	58	43	74.1	4.9	4.5	4.1	4.6	4.5	4.6	4.6	4.4	4.2	4.4	4.6
日本語	演習	99	65	65.7	4.7	4.4	4.1	4.7	4.6	4.6	4.5	4.3	4.0	4.4	4.4